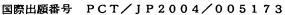
# 発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

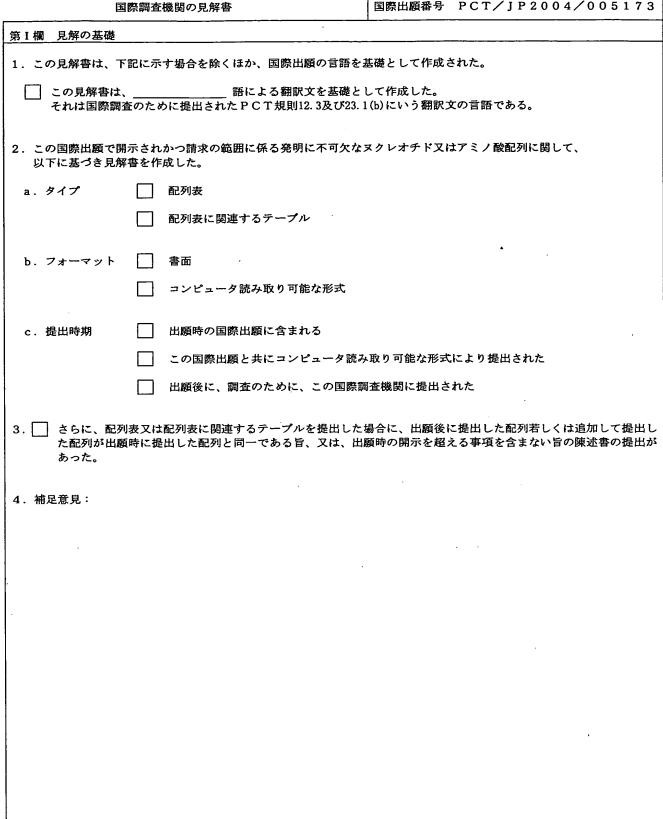
出願人代理人				
三好 秀和 RECEIVED 様 RECEIVED 様 7.21 東京都港区虎ノ門1丁目2番3号、虎A門強サビル 9階	Written Opinion of the ISA  PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]			
	<sup>発送日</sup> (日.月.年) 20. 7. 2004			
出願人又は代理人 の書類記号 JTIM-63-PCT	今後の手続きについては、下記2を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP2004/005173 国際出願日 (B.月.年) 09.	優先日 04.2004 (日.月.年) 09.04.2003			
国際特許分類 (IPC) Int.Cl <sup>7</sup> B32B27/28				
出願人 (氏名又は名称) 東洋インキ製造株式会社				
1. この見解書は次の内容を含む。  図 第 I 欄 見解の基礎				

見解書を作成した日	05.07.2004			
名称及びあて先	0.4.(1.7)	特許庁審査官(権限のある職員) 川端 康之	4 S	9156
日本国特許庁 (I: 郵便番号10 東京都千代田区霞		, , , , , ,	内線	3430

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。









#### 国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/005173

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用で それを裏付る文献及び説明	T能性についてのPCT規則430	D2. 1 (a) (i) に定める見解、 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-10	有 無
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-10	有 無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-10	

#### 2. 文献及び説明

## 請求の範囲1

ポリビニルアルコールとエチレンーマレイン酸共重合体とを含有するガスバリア 層形成用塗料から形成されるガスバリア層と、ガスバリア層の少なくとも一方の面 に積層された2価以上の金属の金属化合物を含有するポリマー層を有する積層体 を、水の存在下で加熱処理する点については、国際調査報告に列挙した何れの文献 にも記載されておらず、また、当業者にとって自明でもない。

よって、請求の範囲1に係る発明は新規性・進歩性を有する。

### 請求の範囲3

ポリビニルアルコールとエチレンーマレイン酸共重合体とを含有するガスバリア 層形成用塗料から形成されるガスバリア層を、2価以上の金属の金属化合物を含有 する水の存在下で加熱処理する点については、国際調査報告に列挙した何れの文献 にも記載されておらず、また、当業者にとって自明でもない。

よって、請求の範囲3に係る発明は新規性・進歩性を有する。

# 請求の範囲2,4-10

上述のとおり、請求の範囲1,3に係る発明は新規性・進歩性を有するから、請求の範囲1,3を引用する請求の範囲2,4-10に係る発明も新規性・進歩性を有する。